自社要件を満足させるファイルサーバーのクラウド化を発端とし、最新技術を導入した革新的な経営スタイルに変革！

株式会社 資産科学研究所

業種	総合コンサルティング業
教職員数	5名(2020年10月時点)
本社所在地	東京都渋谷区富ヶ谷 1-30-22-9

主な事業内容
相続承継
事業承継
企業再生コンサルティング

ホームページ http://www.pscience.jp/

導入サービス
- クラウド導入・運用サービス
- AWS リセールサービス
- ギガらく Wi-Fi
- 資産管理システム、VPN ルータの構築など

クラウド利用サービス
Amazon EC2　Amazon EBS

サービス導入時期 2020 年 9 月

ご担当者さま
代表取締役　萬代　猛さま、高木　紀江さま

クラウドの選定理由

- 情報漏えいを防ぐために細心の注意で対策を施すことが、顧客への信頼獲得につながると強く考えたため
- 近い将来に、固定的な執務室の概念を撤廃し、場所を選ばずデスクワークができる様に整備する考えがあり、その実現のためにはクラウド利用が不可欠であったため

NTT 東日本の選定理由

- 業務用パソコンやLANからクラウドまでの構築と運用を一元的に対応可能なこと
- 複数OSへの対応が可能なこと
- クラウド移行以外のシステムを含めた対応が可能なこと
- 当社要望を最大限に実現するために丁寧かつ迅速に対応いただいたこと

企業規模を問わず、企業システムでのクラウド活用が広まってきています。自社要件を満足させるファイルサーバーのクラウド化で、将来の経営スタイルに向けた3つの課題対応を行われた、株式会社資産科学研究所さま（以下、「資産科学研究所さま」といいます。）の事例をご紹介いたします。

代表取締役　萬代 猛 さま　　高木 紀江 さま

検討のきっかけ・NTT東日本への相談のきっかけ

NTT東日本にご相談いただいたきっかけをお教えください。

当社の情報システム担当は1名の状態です。クラウドを導入する方針が決まり、最初は自社のみでのクラウド導入と運用を想定し、独自でAWSでの検討や検証を開始しました。

しかし、技術面を含め、調査・検討・検証すべきことが膨大にあり、社内のみで進めることに限界を感じたため、クラウドに知見を持つ外部の支援を検討することとなりました。そこで、問い合わせや相談をいくつかの会社に行ったのですが、そのうちのひとつがNTT東日本さまでした。具体的なNTT東日本さまへのアプローチは、NTT東日本クラウドソリューションサイトで知った個別相談会への申し込みが最初でした。（高木さま）

クラウド導入前のビジネス上の課題

業務上の課題をまとめられたとのことですが、具体的にお教えいただけますでしょうか？

課題は3つで、検討の対象となったのはファイルサーバーと業務用パソコンでした。

・業務の効率化

顧客情報は、セキュリティの観点から、オンプレミスのファイルサーバーに情報ファイルを保存していました。これまでは社外からサーバーへアクセスできず、朝夕に必ずオフィスに立ち寄る、外出時は社内スタッフを介して情報を得る必要があるなど、業務に膨大に無駄な時間とコストかかる点が生産性の観点で大きな課題でした。

・情報セキュリティにおけるリスク軽減

顧客情報が入ったファイルをメールに添付して送受信することは、ファイルにパスワード設定をしているとはいえ、万が一のヒューマンエラーによる情報漏えい事故につながりかねず、当社の大きなリスクでした。

・従業員のライフステージに合わせた労働環境の整備

従業員には出産等で退職せずに働き続けてほしいという思いがあり、当社の働き方改革のひとつとして、在宅ワークなどを見据えた社員のライフステージに合わせた労働環境・情報環境の整備を検討していました。（萬代さま）

クラウド活用の理由、AWS選定の理由

なぜクラウド導入を決定されたのでしょうか？

超富裕層の資産に関する包括的な顧客情報を預かっており、顧客の重大な機密情報の漏えいを防ぐために細心の注意で対策を施すことが、顧客への信頼獲得につながると強く考えたことがきっかけです。

また、これまで常識とされているオフィスの機能のうち、執務室や保管庫（サーバー・書類を問わず）などのバックヤード機能は、急激に不要となると予測しています。当社では新型コロナウィルスの影響によるリモート化が促進される前から、この流れを読んで対応していたので、近い将来には、シェアオフィスのように、ゼロバックヤードで、オフィス全体を応接室化すべく整備する考えです。（萬代さま）

AWSを選定された理由をお教えください。

大手を含めた多くの企業での導入実績があり、また、顧客サービスへの姿勢（長期的にサービス提供が受けられるというサービス存続性、価格競争力など）がとても期待できるため、AWSを選定しました。（萬代さま）

NTT東日本選定の理由

今回、パートナーとしてNTT東日本を選定いただいた理由についてお教えください。

1つめは、業務用パソコンやLANからクラウドまで一元的に対応可能なことです。構成するパーツや移行ステップの一部のみのご提案をいただいた会社もあったのですが、支援いただく会社が分かれていることは、検討・導入・運用の推進効率を低下させる要因のひとつです。

2つめは、複数OSへの対応が可能なことです。ご相談当初の当社の情報システム環境は、クライアント端末がMac環境でファイルサーバーはWindowsといったマルチベンダ環境だったのですが、意外と複数OS環境に対応いただける会社さまは多くなかったのです。

3つめは、クラウド移行以外のシステムを含めた対応が可能なことです。ファイルサーバーのクラウド移行と並行して、資産管理システムの新規導入を検討していました。資産管理システムの選定やクラウド上での事前の動作検証をスモールスタートしてステップバイステップする移行提案を行ってくれたことは大きかったです。

4つ目は、当社要望を最大限に実現するための迅速かつ丁寧なご対応です。即答が難しい質問についても持ち帰ってご検討いただき、次回の打ち合わせでは、希望要件を最大限に実現するご提案がいただけました。（高木さま）

NTT東日本による実際のクラウド導入過程の感想と効果

NTT東日本のクラウド導入・運用サービスでクラウド移行を行われた過程のご感想と、クラウド移行後の実際の効果についてお聞かせください。

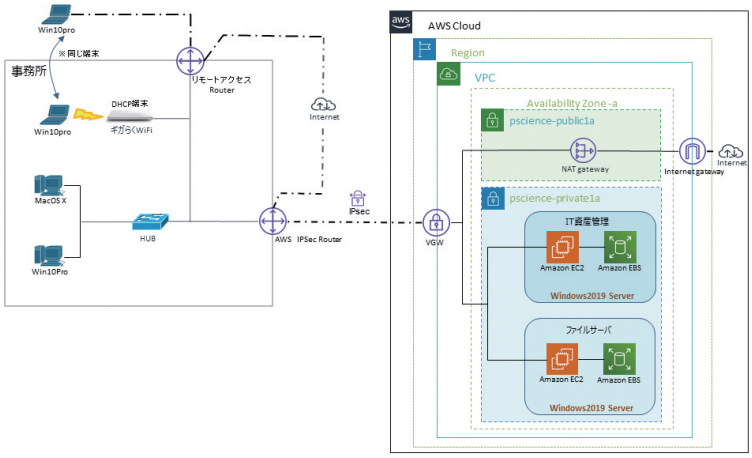
特に、クラウド移行と並行して利用を開始した資産管理ソフトについては、クラウド上でログ監視ができるのか、事前にNTT東日本さまでデモ環境を作られ、検証をしていただいたので、スムーズに本番で運用開始することができました。適切なソフトウェアの提案を頂いた点は稼働後の安心感につながっております。（高木さま）

成果①: 場所を問わずタイムリーに顧客情報を得ることができるようになり、顧客からの依頼に迅速に反応することができるため、顧客対応の付加価値が高まった

成果②: アクセスまでのスピードが社内サーバーとほとんど変わらない

成果③: 安全面においても、当社要望をほとんど満足させるご提案だった。同時に導入した機器を駆使することで、情報漏えいリスクを限りなく低減できた

検討当初に持っていた課題が解決されていると実感しています。そしてこれらの課題解決により、当社が考える将来のオフィスの役割の変更など経営的に今後変えていきたい方向への第一歩が踏み出せています。（萬代さま）



※文中記載の組織名・所属・肩書き・取材内容などは、すべて2020年10月時点（インタビュー時点）のものです。
※事例はあくまでも一例であり、すべてのお客さまについて同様の効果があることを保証するものではありません。
※Amazon Web Services（AWS）、Amazon WorkMailは、米国その他の諸国における、Amazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。